



重度障がい児支援 花色

vol.59

2025.12.22



NEWS LETTER



～令和7年がもうすぐ終わります～

“師走”は本当に走るように忙しく過ぎ、花色もクリスマスとお正月準備に活動はてんこ盛りです。令和7年、こども達は元気に明るくたくさん笑顔と成長をみせてくれました。最高のこども達です。一年を振り返ると、個人的に私は「反省」が一番にできます。わかっていたはずなのに睡眠や食事を後回しにした結果、身体が動かなくなり復活まで1か月半、暗いトンネルの中にいたような気持ちでした。「今後は、自分の生活もきちんと管理し、ご飯も正しくたべ、より良い花色運営をします。」

そしてもう一つは反省・・・というよりは“心配”が起こりました。それはスタッフの“身体の痛み”です。みんな年齢が近いので、あっちでもこっちでも腰をさすり、腰ベルトやサポーターをして頑張っています。リハ職から“足腰に負担をかけない抱っこ”の仕方”を共有してもらいましたが、おきた痛みはどうにもならず。かといって、どんなに身体が痛くても、口をそろえるかのように「抱っこは減らしたくありません。」と言ってくれる素敵な支援者です。この先は短時間ですが腰痛マッサージの時間を設け、無理はせず、送迎時は保護者様にもお手伝いをいただき。療育活動はこれまで通り抱っこを主とし、二名介助で支え合いたいと思います。

来る令和8年は「焦らずに足元をかためる年」にします。」中でも、“地域”としっかり結びつく花色になりたいと願います。この町で、この自然の中で、みんなで子ども達を育める環境になれるように、私達から地域に発信していきます。こどもらしく豊かに安心して暮らし、発達を伸ばしていけますように精進して参ります。どうか皆様も、穏やかで明るい年をお迎えください。いつも見守り、時に背中を押していただき、心より感謝とお礼申し上げます。「今年も有難うございました。」



さようなら



金田さんありがとうございます。
11月末をもって退職いたしました。
こども達に携わりたいと、あつい
気持ちで花色に来てくれました。
「また、あそびにきてね。」

ありがとう

運転手の 大平さんです

「12月から入りました。どうぞ、よろしく
お願い致します。」



ちょっと寂しくなりま
すが、運転手の下村
さんは冬休みいつ
ぱい迄となります
あそびに来てね。



<余市町>

ニッカウキスキー
かくと徳島屋旅館

北海道

私が育った余市町。海あり山ありで、駅を降りるとニッカウキスキー工場がひろがります。こどもの頃は工場の広い敷地を走りました。大人になっても歩いているだけで、幸せな気持ちになります。そして、駅の目の前には「かくと徳島屋旅館」があり、土地の野菜やお魚を美味しく調理し、提供してくれます。余市の恵です。ぜひ！（予約制）





来年にむけて
馬の版画作成中



わたしは
クリスマス
オーナメント作り！
海みた～いキレイ



タンバリンじゃ
だめかな？



もうすぐ
除夜の鐘



NEWS LETTER



できあがりは・・・



ちょうだい！



版画を
刷るぞ～

かわいい
馬になったよ



こっちが
いいの～

良い年を
むかえましょ



<脳の特性を知ろう> カクテルパーティー効果

周囲がざわついている中でも、誰かが自分の名前を言ったり、自分の話になると、すぐ気づく事ってありますよね。

意識していないのに ピピッと 気づくのは、脳が必要な情報だけをピックアップしているからです。これを「カクテルパーティー効果(周辺効果)」といいます。

強く意識していることがあっても、誰も見過ごすような何かに気づき、それがきっかけで新たな展開や可能性をもたらすことがあります。

花色でも、カクテルパーティー効果を感じる時があります。ぼんやりウトウト。でも遠くのスタッフが「・・・お祝いの準備。」の一言で、眠気が覚め、期待感溢れ、声の主をじっと目で追ってます。

「なりたい自分」や「やりたいこと」を意識する事が大切と聞きますよね。常に意識していると、チャンスを引き寄せやすくなるのは、こういう事です。



今日のお祝いは
私のことね♡

第50回日本重症心身障害学会

第50回日本重症心身障害学会が三重県津市にて開催されました。花色は[地域・行政と育む災害対策]について発表しました。災害を考えた時、私は<要支援者が率先避難者になる>ことを提案しています。たとえば民生委員等の、地域の方に避難準備をお手伝いしていただき、交通渋滞になる前に避難することで「あの子どもも避難したから、私達も避難しよう。」と地域(全体)が避難し、命を守る要になれると考えるからです。歩けないからこそ、助けが必要だからこそ、「気に掛ける存在」になることも一つの防災になります。自助力や決断力も自然と高まります。災害発生時、障がい児者を含む要支援者が、避難をあきらめる事がないようお願いしてきました。そして、帰りがけに伊勢神宮でこども達の健康祈願をして参りました。みんな元気で幸せでありますように。

